



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツガミ

コード番号 6101 URL <http://www.tsugami.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 CEO

(氏名) 西嶋 尚生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長

(氏名) 三浦 由博

TEL 03-3808-1711

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	19,582	133.7	3,310	421.6	2,839	402.3	1,824	296.3
24年3月期第1四半期	8,379	△9.6	634	△37.5	565	△41.4	460	△47.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,071百万円 (96.3%) 24年3月期第1四半期 545百万円 (△17.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	24.80	24.43
24年3月期第1四半期	6.98	6.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	53,468	28,497	52.6	382.07
24年3月期	50,757	27,717	53.9	372.21

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 28,123百万円 24年3月期 27,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	80.0	4,800	243.5	4,600	276.7	2,800	220.5	38.06
通期	55,000	53.9	8,800	115.3	8,400	116.7	5,200	128.0	70.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 2社 (社名) TSUGAMI KOREA Co.,Ltd
浙江品川精密機械有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	74,919,379 株	24年3月期	74,919,379 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	1,310,891 株	24年3月期	1,382,906 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	73,572,587 株	24年3月期1Q	65,966,703 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
4. 補足情報	11
(1) 海外売上高	11
(2) 連結販売実績	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、震災復興需要の本格化、エコカー購入支援策などにより緩やかな回復基調となりましたが、欧州の金融不安に加え、歴史的円高水準の長期化により、なお予断を許さない状況が続いています。

工作機械業界におきましては、国内自動車向けや北米向け輸出が堅調に推移したものの、長引く円高や欧州経済危機の影響が強まり、不安定な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは、前期に実現しましたスマートフォン市場への参入効果が本格化したことから、売上、利益とも大幅に増加しました。

当第1四半期連結会計期間の売上高は19,582百万円（前年同四半期比133.7%増）、営業利益は3,310百万円（同421.6%増）、経常利益は2,839百万円（同402.3%増）、四半期純利益は1,824百万円（同296.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2,711百万円増加し、53,468百万円となりました。これは主に、現金及び預金が965百万円、受取手形及び売掛金が2,431百万円、たな卸資産が265百万円、有形固定資産が1,081百万円（※1）増加した一方、投資有価証券が880百万円、関係会社出資金が439百万円（※2）減少したことによるものです。

当第1四半期末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,931百万円増加し、24,971百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3,160百万円増加した一方、短期借入金が1,091百万円、未払法人税等が590百万円減少したことによるものです。

当第1四半期末における純資産は、前連結会計年度末に比べて780百万円増加し、28,497百万円となりました。これは主に、当四半期純利益が1,824百万円増加した一方、その他有価証券評価差額金が評価減により563百万円、配当金の支払いにより367百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は52.6%と前連結会計年度末比1.3%の低下となりました。

（※1）連結範囲の変更による増加額427百万円を含んでいます。

（※2）連結範囲の変更による減少額465百万円を含んでいます。

②当期のキャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて791百万円増加し、6,056百万円となりました。当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金は、3,049百万円の増加（前年同四半期は1,005百万円の増加）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益2,769百万円、減価償却費186百万円、仕入債務の増加3,213百万円により資金が増加した一方、売上債権の増加2,478百万円、たな卸資産の増加420百万円、法人税等の支払額1,443百万円により資金が減少したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金は、659百万円の減少（前年同四半期は146百万円の減少）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得531百万円により資金が減少したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金は、1,582百万円の減少（前年同四半期は482百万円の減少）となりました。

これは主に、短期借入金の返済1,068百万円、社債の償還150百万円、配当金の支払367百万円により資金が減少したことによるものです。

（注）「資産、負債及び純資産の状況」と「当期のキャッシュ・フローの状況」において、たな卸資産増加額、短期借入金減少額等の金額差異は、為替換算および連結範囲の変更によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期業績予想につきましては、平成24年5月10日公表内容と同じく、修正いたしておりません。また、平成25年3月期の配当金につきましても当初予想のとおり、1株につき中間配当金6円、期末配当金6円の年間12円としております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期会計期間より、当社子会社であるTSUGAMI KOREA Co., Ltdおよび浙江品川精密機械有限公司は、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ3百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,314	6,279
受取手形及び売掛金	10,536	12,968
商品及び製品	4,275	4,719
仕掛品	6,926	5,751
原材料及び貯蔵品	7,606	8,601
繰延税金資産	535	543
その他	1,973	1,177
貸倒引当金	△59	△49
流動資産合計	37,108	39,991
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,555	4,398
機械装置及び運搬具(純額)	2,134	2,638
土地	581	581
リース資産(純額)	15	13
建設仮勘定	684	409
その他(純額)	262	273
有形固定資産合計	7,234	8,315
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,967	4,086
関係会社出資金	1,141	702
長期貸付金	1	4
繰延税金資産	1	1
その他	121	146
投資その他の資産合計	6,233	4,940
固定資産合計	13,616	13,447
繰延資産	32	28
資産合計	50,757	53,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,503	19,664
短期借入金	2,107	1,015
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	1,413	823
賞与引当金	272	496
製品保証引当金	148	174
その他	730	1,330
流動負債合計	21,476	23,803
固定負債		
社債	300	150
繰延税金負債	420	201
退職給付引当金	774	749
役員退職慰労引当金	12	13
その他	56	53
固定負債合計	1,563	1,167
負債合計	23,040	24,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	5,884	5,884
利益剰余金	8,535	10,015
自己株式	△499	△474
株主資本合計	26,264	27,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,114	550
繰延ヘッジ損益	1	1
為替換算調整勘定	△9	△199
その他の包括利益累計額合計	1,106	353
新株予約権	345	373
純資産合計	27,717	28,497
負債純資産合計	50,757	53,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	8,379	19,582
売上原価	6,706	14,819
売上総利益	1,673	4,762
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	263	309
賞与引当金繰入額	33	62
退職給付費用	18	18
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
研究開発費	188	237
保険料	22	37
製品保証引当金繰入額	25	58
その他	485	728
販売費及び一般管理費合計	1,039	1,452
営業利益	634	3,310
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	23	29
その他	23	21
営業外収益合計	47	54
営業外費用		
支払利息	15	26
為替差損	61	413
手形売却損	29	11
その他	11	73
営業外費用合計	116	525
経常利益	565	2,839
特別利益		
固定資産売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産除却損	0	1
減損損失	—	35
投資有価証券評価損	—	34
その他	0	—
特別損失合計	0	70
税金等調整前四半期純利益	566	2,769
法人税、住民税及び事業税	225	888
法人税等調整額	△120	56
法人税等合計	105	945
少数株主損益調整前四半期純利益	460	1,824
少数株主利益	—	—
四半期純利益	460	1,824

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	460	1,824
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138	△563
繰延ヘッジ損益	△5	0
為替換算調整勘定	△47	△190
その他の包括利益合計	85	△753
四半期包括利益	545	1,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545	1,071
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	566	2,769
減価償却費	181	186
投資有価証券評価損益(△は益)	—	34
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	0	△25
受取利息及び受取配当金	△24	△32
支払利息	15	26
有形固定資産売却損益(△は益)	△1	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△283	△2,478
たな卸資産の増減額(△は増加)	△752	△420
仕入債務の増減額(△は減少)	1,182	3,213
減損損失	—	35
その他	473	1,182
小計	1,357	4,483
利息及び配当金の受取額	24	32
利息の支払額	△16	△22
法人税等の支払額	△359	△1,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,005	3,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10	△144
定期預金の払戻による収入	10	45
有形固定資産の取得による支出	△93	△531
有形固定資産の売却による収入	4	4
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
出資金の払込による支出	△11	△25
その他	△45	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146	△659
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△1,068
社債の償還による支出	△150	△150
自己株式の売却による収入	0	8
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△329	△367
リース債務の返済による支出	△2	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△482	△1,582
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△43
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	369	764
現金及び現金同等物の期首残高	4,061	5,264
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	27
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,431	6,056

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I. 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	日本	中国	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,691	2,688	8,379
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,536	666	3,203
計	8,227	3,355	11,582
セグメント利益	495	145	640

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	640
未実現利益の消去他	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	634

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	日本	中国	その他	合計
売上高				
外部顧客への売上高	6,131	13,202	248	19,582
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,977	718	20	7,716
計	13,109	13,921	268	27,298
セグメント利益	1,582	1,539	30	3,152

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,152
未実現利益の消去他	157
四半期連結損益計算書の営業利益	3,310

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

	日本	中国	その他	全社・消去	合計
減損損失	35	—	—	—	35

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社子会社であるTSUGAMI KOREA Co.,Ltdおよび浙江品川精密機械有限公司を連結範囲に含めたことにより、報告セグメントを従来の「日本」および「中国」の2区分から、「日本」、「中国」および「その他」の3区分に変更しております。なお、「その他」の金額は、全てTSUGAMI KOREA Co.,Ltdであります。

4. 補足情報

1) 海外売上高

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計
I 海外売上高 (百万円)	16,504	644	306	17,455
II 連結売上高 (百万円)				19,582
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	84.3	3.3	1.5	89.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………中国、タイ、韓国、フィリピン、台湾、シンガポール、ベトナム、インド

(2) アメリカ……………アメリカ合衆国、アルゼンチン、メキシコ

(3) ヨーロッパ……………スイス、ドイツ、ハンガリー、フランス、トルコ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 連結販売実績

	当第1四半期連結累計期間 (H24. 4. 1~H24. 6. 30)		前第1四半期連結累計期間 (H23. 4. 1~H23. 6. 30)		比較増減	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
自動旋盤	12,477	63.7	6,974	83.2	5,503	78.9
研削盤	723	3.7	778	9.3	△55	△7.1
マシニングセンタ	69	0.4	181	2.2	△112	△62.0
転造盤、専用機	6,249	31.9	283	3.4	5,965	—
その他	63	0.3	162	1.9	△99	△61.0
合計	19,582	100.0	8,379	100.0	11,202	133.7
(うち海外売上高)	(17,455)	(89.1)	(5,779)	(69.0)	(11,676)	(202.0)